

# NARITA

NO. 44

# 市議会だより

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Phone 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲新成田市が誕生した日を“成田市民の日”として制定し、市表彰式のほかファミリーコンサートやアトラクションで一周年を祝いました。(3月27日 成田国際文化会館)

## 3月定例会市議会のあらまし

平成19年第1回定例会市議会は、2月9日に招集され3月2日まで22日間の会期で開かれました。定例会市議会の初日には、成田市生涯大学の設置及び管理に関する条例の一部改正、平成19年度一般会計予算など52議案が上程されました。

一般質問は2月13日から15日まで21人の議員が登壇して行われ、15日には議案1件を可決し、また予算特別委員会が設置されました。16日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日の3月2日には議案51件を原案どおり可決し閉会しました。

### 主な内容

- ☆可決された議案の概要……P 2～5
- ☆特別委員会から……P 6～7
- ☆平成18年度の行政視察……P 6
- ☆予算特別委員会を設置……P 7
- ☆一般質問から……P 8～16
- ☆コーヒータ임……P 16

## 【3月定例会市議会の日程】

期 日	内 容
2月9日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
13日(火)	本会議(議案質疑、一般質問)
14日(水)	本会議(一般質問)
15日(木)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
16日(金)	建設水道常任委員会 教育民生常任委員会
19日(月)	空港対策特別委員会 新清掃工場建設特別委員会
20日(火)	新駅・まちづくり特別委員会
21日(水)	経済環境常任委員会 総務常任委員会
22日(木)	予算特別委員会
23日(金)	予算特別委員会
26日(月)	予算特別委員会
3月2日(金)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)



成田市

# 52議案を可決・認定

## 平成19年度当初予算や、成田市生涯高等学校の

### 設置及び管理に関する条例の一部改正など

3月の定例市議会では、条例の制定、一部改正など24件、市有財産の取得が2件、補正予算関係案件10件、当初予算案件9件など52件が審議され、原案どおり可決・認定されました。また、議会に寄せられた1件の請願は趣旨採択となりました。

#### ●可決された

#### 議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

#### 総務常任委員会

▼地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて

【内容】地方自治法が改正され、平成19年4月1日から、助役に代えて副市長を置くこと及び収入役を廃止し、一般職の会計管理者を置くこととされたことに伴い、所

要の改正を行うおとするもの。

▼成田市監査委員条例を制定するについて

【内容】地方自治法が改正され、これまで、条例で定めることとされていた監査委員の定数が、同法の規定に2人と明記されたことに伴い、新たな条例を制定しようとするもの。

▼成田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例を制定するについて

【内容】書面により行っている各種の行政手続について、インターネットを利用した電子申請が行えるよう、新たに条例を制定しようとするもの。

【主な質疑】

問 オンラインによる申請が可能なのは、当初の利用開始時に31種類となっているが、将来、インターネットで印鑑証明や住民票等

の交付を受けることができるようになるのか。

答 この条例の趣旨は、書面により行っている各種申請、届出等について、インターネットを利用した電子申請が行えるようにするものであり、印鑑証明や住民票等のオンラインによる交付については、現在のところ考えていない。

▼成田市助役定数条例の一部を改正するについて

【内容】地方自治法が改正され、平成19年4月1日から副市長の定数は、条例で定めることとされたことから、成田市の副市長の定数を1人と定めようとするもの。

【主な質疑】

問 助役を2名にした経緯があるが、それを1名にする理由は。答 行財政改革の推進にさらに積極的に取り組んでいく必要があることから、現行の助役2人制を改

め、副市長の定数を1人としたい。問 助役から副市長に変わることによって、権限が拡大されるのか。

答 地方自治法の改正により、市長の命を受け政策や企画について、より積極的な役割を担い、市長の権限に属する事務の一部について責任を受けて、副市長自らの権限と責任において当該事務を執行することができるようになった。

▼成田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて

【内容】休憩時間の制度を廃止することに伴い、休憩時間を改めるとともに、育児を行う職員が時間外勤務の制限措置を請求することができるための要件を緩和しようとするもの。

▼特別職の職員及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正するについて

【内容】平成17年7月から、特例として行っている特別職及び教育長の給与に関する減額措置を、引き続き、平成23年1月20日まで延長しようとするもの。

▼一般職職員の給与に関する条例の一部を改正するについて

【内容】平成18年の国及び千葉県との給与勧告に基づき、平成19年4月以降の扶養手当について、3人目以降の手当額を6千円にしようとするもの。

▼成田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正するについ

て

【内容】特殊勤務手当の全面的な見直しを行い、現行の22種類の手当を17種類に改めることに伴い、所要の改正を行うおとするもの。

▼成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて

【内容】18歳以上の身体障がい者に対する軽自動車税の減免の取り扱いについて、身体障がい者と生計を同じくする者の所有についても認めることとする改正を行うおとするもの。

▼成田市手数料条例の一部を改正するについて

【内容】平成19年4月1日から、租税特別措置法に基づく優良宅地の認定事務のうち、知事の権限であったものが、市長に委譲されることから、本条例に、この手数料に関する規定を加えようとするもの。



▲4月1日から供用開始する“JR久住駅前駐輪場”

▼成田市自転車等の放置防止に関する条例の一部を改正するについて

【内容】JR久住駅前整備した駐輪場について、平成19年4月1日から供用を開始するにあたり、その名称を成田市JR久住駅前駐輪場と定め、本条例に加え、良好な管理を行うおとするもの。

▼成田市消防賞じゅつ金条例の一部を改正するについて

【内容】賞じゅつ金の額を決定する基準としている地方公務員災害補償法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うおとするもの。

▼香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

【内容】北総西部衛生組合を解散し、その共同処理する事務を香取広域市町村圏事務組合が承継することに伴い、同組合の規約を改正することについて、関係地方公共団体の協議を行うおとするもの。

▼千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

【内容】平成19年1月1日に設立された千葉県後期高齢者医療広域連合の加入及び解散する北総西部衛生事務組合の脱退により、千葉県市町村総合事務組合の規約を改

正することについて、関係地方公共団体の協議を行うおとするもの。

▼字の区域及び名称を変更するについて(土屋房谷津土地区画整理事業)

【内容】成田市土屋房谷津土地区画整理事業の施行に伴い、字の区域及び名称を変更しようとするもの。

▼平成18年度成田市一般会計補正予算(第6号)について

【内容】歳入歳出それぞれ8億9,93万8千円の増額補正を行うおとするもの。

【主な質疑】

問 知的障害者通所更正施設「アー・アンド・デイたいえい」について

は、4月に竣工すると聞いているが、これに対する施設整備費補助金がこの時点での補正となった理由は。

答 これまで補助金交付についての協議をしてきたが、先ごろ施設内容が確定し、今回の補正となった。問 久住中学校建設工事に関しては、かなりの減額となっているが、この要因は。

答 屋内運動場建築工事、プール整備工事、外構工事それぞれ減額になっており、いずれも主に入札差額による減額である。

教育民生常任委員会

▼成田市中学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止



▲4月1日開校の「久住中学校」

するについて

【内容】久住中学校の校舎建設等の経費に充てるため積み立てていた基金について、事業の終了に合わせ、廃止しようとするもの。

▼成田市立中学校設置条例の一部を改正するについて

【内容】久住中学校の新校舎が、平成19年4月1日から供用を開始することに伴い、所要の改正を行うおとするもの。

▼成田市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正するについて

【内容】学校教育法の一部が改正され、平成19年4月1日から、特殊学級の名称が特別支援学級に、盲学校、聾学校及び養護学校の名称が特別支援学校に改められることに伴う改正を行うおとするもの。

【主な質疑】

問 国の特別支援教育にかかる人的配置の内容は。また、特別支援教育支援員の配置により、実際に障がい児教育にあたる先生の数が減らされる心配はないのか。

答 支援員を、全国で平成19年度に2万1千人、20年度に3万人相当配置する予定であり、軽度発達障がい等も含めた障がいのある児童生徒への支援等の充実を図ることが大きなねらいであると理解している。

▼成田市生涯大学の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】新校舎を、平成19年5月18日から供用を開始することに伴い、所在地の表記の変更を行うとともに、開館時間及び休館日を改めようとするもの。

【主な質疑】

問 開館時間を午後5時までとした背景は。

答 生涯大学校として使っていない時間帯を地区の集会等に開放する考えは同じだが、騒音の問題等地域の希望もあり5時までとした。問 建設にあたって地区の説明は行ったか。

答 近隣の住宅を訪問し、要望等を伺いながら説明してきており、公聴会も開催した。

▼成田市生涯学習会館の設置及び管理に関する条例を制定するについて

【内容】現在の生涯大学校につ

て、施設の名称を成田市生涯学習会館と定め、適正な管理運営を行うため、新たな条例を制定しようとするもの。

【主な質疑】

問 生涯学習会館の名称を決めた背景は。また、駐車場の問題など設置目的を達成する条件が整っていないために限定された施設となることが危惧されるが見解は。

答 これまでも地域住民の活動場所として利用されており、今後生涯学習の場であるとの考えから生涯学習会館とした。駐車場など不便な面もあるが、現在もサークルや地域住民の方々の多くの利用があり、同じような形で使っていたことが福祉増進の一つであると考えられる。

▼成田市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】こすもす苑デイサービスセンターについて、平成19年度から、年末年始以外は開館することとしたことに伴い、休館日の改正を行うおとするもの。

▼成田市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正するについて

【内容】援護施設等の名称が、障害者自立支援法の施行により、障害者支援施設に変更されたことに伴い、所要の改正を行うおとするもの。

▼成田市予防接種健康被害調査委

員会設置条例の一部を改正するについて

▼平成19年4月1日から、結核に係る予防接種が、予防接種法に位置付けられることに伴う改正を行うとするもの。

▼平成18年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

▼平成18年度成田市老人保健特別会計補正予算(第1号)について

▼平成18年度成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

▼平成18年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

## 経済環境常任委員会

▼成田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市中小企業資金融資条例の一部を改正するについて



▲香取広域市町村圏事務組合の「牧野し尿処理場」

平成19年4月1日から成田市の事務となることから、本条例において、所要の改正を行うとするもの。

### 【主な質疑】

問 下総・大栄地区のし尿の処理は、従来どおりの施設を使用するのか。

答 現在の北総西部衛生組合の処理場で処理することになる。

▼成田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正するについて

▼成田市中小企業資金融資条例の一部を改正するについて

▼成田市中小企業資金融資条例の一部を改正するについて

代表者以外の連帯保証人は必要としない取り扱いとすることに伴い、本条例において、所要の改正を行うとするもの。

▼市有財産の取得について(大蕪新宮線街路整備事業用地)

▼北総西部衛生組合の解散に関する協議について

▼北総西部衛生組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

▼市道路線の廃止について(幡谷菅橋線外2路線)

▼市道路線の認定について(幡谷菅橋線外70路線)

▼平成18年度成田市一般会計補正予算(第5号)について

▼平成18年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について

▼平成18年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

▼平成18年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について

▼市有財産の取得について(市道大竹豊住線道路改良事業用地)

▼市有財産の取得について(市道大竹豊住線道路改良事業用地)

## 建設水道常任委員会

それぞれ2千万円の減額補正を行い、資金的収入及び支出では、それぞれ8千万円の減額補正を行うとするもの。

▼平成18年度成田市水道事業会計補正予算(第3号)について

▼平成18年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について

### ●補正予算

▼平成18年度成田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

▼平成18年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について

### ●請願の審査結果

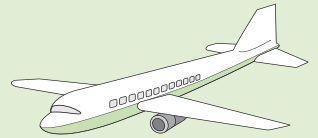
▼社会福祉施設の建設に関する請願書 [趣旨採択]

## 平成19年3月成田市議会定例会審議案件一覧

(平成19年2月9日～3月2日)

議案番号	件名	議決の結果
1	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて	可決
2	成田市監査委員条例を制定するについて	可決
3	成田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例を制定するについて	可決
4	成田市助役定数条例の一部を改正するについて	可決
5	成田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するについて	可決
6	特別職の職員及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正するについて	可決
7	一般職職員の給与に関する条例の一部を改正するについて	可決
8	成田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正するについて	可決
9	成田市中学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止するについて	可決
10	成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて	可決
11	成田市手数料条例の一部を改正するについて	可決
12	成田市立中学校設置条例の一部を改正するについて	可決
13	成田市心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正するについて	可決
14	成田市生涯大学の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可決
15	成田市生涯学習会館の設置及び管理に関する条例を制定するについて	可決
16	成田市遺児手当支給条例の一部を改正するについて	可決
17	成田市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	可決
18	成田市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正するについて	可決
19	成田市自転車等の放置防止に関する条例の一部を改正するについて	可決
20	成田市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正するについて	可決
21	成田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正するについて	可決
22	成田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正するについて	可決
23	成田市中小企業資金融資条例の一部を改正するについて	可決
24	成田市消防賞じゅつ金条例の一部を改正するについて	可決
25	市有財産の取得について(市道大竹豊住線道路改良事業用地)	可決
26	市有財産の取得について(大蕪新宮線街路整備事業用地)	可決
27	香取広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び香取広域市町村圏事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決
28	北総西部衛生組合の解散に関する協議について	可決
29	北総西部衛生組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	可決
30	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決
31	字の区域及び名称を変更するについて(土屋房谷津土地区画整理事業)	可決
32	市道路線の廃止について(幡谷萱橋線外2路線)	可決
33	市道路線の認定について(幡谷萱橋線外70路線)	認定
34	平成18年度千葉県成田市一般会計補正予算(第5号)	可決
35	平成18年度千葉県成田市一般会計補正予算(第6号)	可決
36	平成18年度千葉県成田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
37	平成18年度千葉県成田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
38	平成18年度千葉県成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決
39	平成18年度千葉県成田市老人保健特別会計補正予算(第1号)	可決
40	平成18年度千葉県成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
41	平成18年度千葉県成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
42	平成18年度千葉県成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
43	平成18年度千葉県成田市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
44	平成19年度成田市一般会計予算	可決
45	平成19年度成田市国民健康保険特別会計予算	可決
46	平成19年度成田市下水道事業特別会計予算	可決
47	平成19年度成田市公設地方卸売市場特別会計予算	可決
48	平成19年度成田市老人保健特別会計予算	可決
49	平成19年度成田市介護保険特別会計予算	可決
50	平成19年度成田市農業集落排水事業特別会計予算	可決
51	平成19年度成田市簡易水道事業特別会計予算	可決
52	平成19年度成田市水道事業会計予算	可決
請願第1号	社会福祉施設の建設に関する請願書	趣旨採択

# 特別委員会 から



## 空港対策

### 特別委員会

執行部から「今後の成田空港のあり方についての意見書の提出について」の報告があり、現在、国土交通省において、航空局長の私的懇談会として、今後の国際拠点空港のあり方に関する懇談会が開催されており、昨年12月8日の第3回懇談会において、国際拠点空港が所在する関係自治体のヒアリングが行われた中で、成田国際空港に関する、千葉県が空港圏自治体の意見も踏まえヒアリングに臨んだところ、千葉県の意見に対し、懇談会の委員の方々から、成田空港の実情を理解しているとは思えない発言がありました。

これら意見に対して、成田空港圏自治体連絡協議会では、副会長である芝山町を中心に懇談会の会長に、1月11日付で意見書を提出したとのことでした。  
また、千葉県と成田空港圏自治

体連絡協議会の連名で、地元自治体の意見を十分尊重し、誠意を持って対応されるよう要望するといった内容の意見書を2月2日、国土交通省航空局長あてに提出したとのことでした。

#### 【主な質疑】

問 空港建設反対の方たちに行行政のトップとしてアクションを起こす考えは。

答 成田市の発展という視点から話し合いをさせていただきたいという気持ちは強く持っている。

問 非常に難しいことだと思いが、株式会社公開前に地元自治体として、株を保有することは可能か。

答 国土交通省の考えでは非常に難しい。

## 新駅・まちづくり 特別委員会

執行部から「成田新高速鉄道及び北千葉道路について」平成18年12月定例会以降の動き及び状況等の報告がありました。

はじめに地元対応については、1月28日をもって市内での用地補償説明会はすべて終了し、機能補償を含む事業計画や地元からの要望事項については、一部合意に至っていない要望事項等も残っているが、早期に合意に達するよう引き続き努力していくとのことでした。また、北須賀地先に整備が予定される簡易パーキング計画については、平成19年度に(仮称)印旛沼簡易パーキング関連施設整備基本構想を策定したいとのことでした。

事業の進捗状況及びスケジュールについては、用地交渉の整った方から土地売買契約の締結が行われており、1月末現在での用地取得契約率は約46パーセントとのことであり、大谷津運動公園内の橋脚下部工事等で若干の遅れはあるものの、現在は順調に工事が進められているとのことでした。また、平成19年度は、繰越しした北総線改良工事や用地買収を行うとともに、印旛沼及び印旛沼捷水路の橋梁工事等を引き続き施工する予定であるとのことでした。

(仮称)土屋駅の実現のためには、成田新高速鉄道の輸送需要が向上でき、成田市のメリットだけでなく鉄道事業者にとってもメリットが大きいと判断していた大きくことが必要であると考え、(仮称)土屋駅事業化推進調査を平成19年度に実施したいとのことでした。

新駅・まちづくりについては、

## 平成18年度の行政視察

委員会名	総務常任委員会	教育民生常任委員会	経済環境常任委員会	建設水道常任委員会
視察日程	平成18年7月11日～13日	平成18年7月19日～21日	平成18年7月18日～20日	平成18年7月11日～13日
視察先 (視察内容)	京都府京都市 (合併後のまちづくり)  岐阜県高山市 (合併後の行財政計画・まちづくり戦略)	福岡県太宰府市 (九州国立博物館)  熊本県熊本市 (現代美術館・子ども文化会館・熊本博物館)	福岡県大牟田市 (エコタウン事業・石炭産業科学館)  熊本県水俣市 (環境マイスター認定制度事業・水俣病資料館)	北海道池田町 (ブドウ・ブドウ酒研究所) 北海道帯広市 (稲田浄水場) 北海道占冠村 (占冠村物産館・道の駅 自然体しむかっぶ)
委員会名	空港対策特別委員会	新駅・まちづくり特別委員会	新清掃工場建設特別委員会	議会運営委員会
視察日程	平成18年9月27日～29日	平成18年10月17日～19日	平成18年9月26日～28日	平成18年11月7日～9日
視察先 (視察内容)	愛知県常滑市 (中部国際空港)  兵庫県神戸市 (神戸空港)	北海道北広島市 (エルフィンパーク及び周辺区画整理事業)  北海道江別市 (野幌駅及び拠点街区整備事業)	岩手県矢巾町 (盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター)  秋田県秋田市 (総合環境センター)	青森県青森市 (議会でのインターネット中継)  北海道北斗市 (合併後の議会運営)

# 予算特別委員会を設置

～新年度予算9議案を審査・可決～

3月定例市議会では、平成19年度当初予算関係9議案を審査するための予算特別委員会(委員12人)が、2月15日に設置され、2月22日、23日、26日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果、各議案はすべて原案どおり可決されました。



委員長 谷平 稔

副委員長	小山	昭
委員	堀川	冽
委員	伊藤	春
委員	海保	茂
委員	神崎	利
委員	加瀬	間
委員	穴倉	俊
委員	尾形	英
委員	内山	健
委員	馬込	勝
委員	平良	清
		忠

## 《新年度予算の概要》

我が国の経済は、企業部門の好調さが雇用・所得環境の改善を通じて家計部門へ徐々に波及し、民間需要中心の回復が続き、物価の安定の下での自立的・持続的な経済成長が期待されます。

成田市においては、国からの税源移譲等により市民税を中心に税収の伸びが期待できる状況ではありますが、地方特例交付金の縮減、減税補てん債の廃止等や公共施設の拡充あるいは少子高齢化対策等により物件費、扶助費等の経常的経費の増加により、今後の財政運営は、予断を許さない状況にあります。

このような状況下にあっても、2年目を迎えた新総合計画の推進に向け、その基本計画に沿った重点事業を中心に一般会計で487億円の当初予算を編成しました。

- ◆一般会計 487億円
- ◆特別会計 国民健康保険…100億9,026万5千円
- 下水道事業…21億5,230万8千円
- 公設地方卸売市場…2億4,637万3千円
- 老人保健…66億5,301万1千円
- 介護保険…38億5,796万4千円
- 農業集落排水事業特別会計…4億4,028万8千円
- 簡易水道事業特別会計…7億4,923万6千円
- (収益的、資本的支出計)
- ◆水道事業会計 34億4,614万9千円(収益的、資本的支出計)

(仮称)成田ニュータウン北駅周辺の都市計画について、12月19日に千葉県都市計画審議会が開催され、すべての案件について原案どおり可決され、都市計画決定・変更告示を2月23日に行う予定とのことでした。

湯川車庫の用地取得については、2月8日に北千葉道路・成田新高速鉄道の事業用地とともに、本市は駅周辺整備事業用地として千葉交通株式会社と土地の売買契約を締結したとのことでした。

(仮称)成田ニュータウン北駅前広場検討案については、現在詳細設計を実施中だが、駅舎の設計を行っている成田高速鉄道アクセス株式会社と共同で、景観設計が専門の大学の教授からアドバイスをいただいているが、その検討会の中で駅舎と駅前広場の合理的な利用が図られるよう、検討案が提示されたが、当初案に比べ路線バス利用者にとっても、また一般車での利用者や歩行者にとっても、より利便性が向上すると判断されるため、今後は検討案をもとに各事業者や県警の交通規制課などの関係機関と協議し、設計をまとめていきたいとのことでした。

また、松崎地区からのアクセス道路については、路線選定の基礎資料を得るための概略設計を実施しているため、概略設計がまとまりしだい、地区の方々と協議していききたいとのことでした。

## 新清掃工場建設 特別委員会

執行部において、新清掃工場建設に関して、平成18年12月初旬からの市長不在という事態を受け、「主な質疑」

問 地元対応の中で合意に至っていない点は何か。

答 地域振興策を求められている点が未調整である。

新市長の就任を待つて、事務作業を進めることとしていたことから、この間の動きがなかったため、委員会当日は、執行部からの報告事項はありませんでしたが、ごみ焼却場に対する理解をさらに深め、運転管理上の問題点を把握するため、委員会散会後に、ガス化熔融炉シャフト式の焼却炉で、ごみ処理を行っている習志野市のごみ焼却場「芝園清掃工場」の視察を行いました。

## 一般質問から



一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずねるものです。

3月定例会市議会では21人の議員が質問に立ちました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会後約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

## 新市長に望む

渡辺 昭 議員

**問** 前市長の事件は、どんなに能力や政治的手腕があっても、正義に反することをしてしまつてはどうすることもできないことを、また、市民との信頼の糸がどんなに大切であるか、天地に恥じぬ清い心と誠実な行動こそ、市民の血税を預る公僕の間であることを見しむと、感じさせるものであった。



▲小泉市長の“所信表明”

も忘れずに、先人たちの残してくれた営々とした道を踏み固めながら、命麗しく清貧を快しとして、市長のスローガンである生涯を完

結できる豊かなまちをつくっていただきたい。

今、市長の胸の内に湧き出る門出の決意を成田市民の一人ひとりの胸の内に語っていただきたい。市民も議員も市職員も、ともにクリーンな政治土壌をつくるために、心の扉を開き合つて出発していただきたい。政治は利権のために使つてはならない。生かされている天地の恩愛に感謝し合い、一人はみんなのために、みんなの心は一人のために、愛と喜びの政の本源に、成田市政を盛り上げていただきたい。

**答** 渡辺議員は信仰心が厚く、その信仰心があらゆる困難を克服する源泉となつてお見受けする。強い責任感と謙虚さを兼ね備えた公平無私の姿勢は、まだまだ私には遠く及ばないものがあり、ただ、今は5期20年にわたり成田市民のために尽くされてきた成田市政に対する熱い思いが、切々と伝わり、本当に心が洗われるようである。私は、渡辺議員の熱い思いをしっかりと受けとめ、清潔な市政の流れをつくり上げ、市民に開かれた市政を実現し、新生成田市を温かみとやさしい思いやりを持った「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりに邁進していく決意である。

## 市長の公約について

平良 清忠 議員

**問** 我が国は、国、地方を挙げて行財政改革に取り組んでおり、今まさに地方自治体は大きな岐路に差し加かつておると言える。自治体の長が単に自治体を運営するという意識ではなく、自治体を経営していくという意識改革をすることが重要と思われる。

① 12万有余の成田市民の代表として、また執行機関の長として、変革の時代の自治体経営にいかにか臨むのか、市政のかじ取り役としての市長の考えは。

② 少子化の進展は、人口高齢化とは表裏一体をなすものであり、少子化対策は高齢者対策と表裏一体をなすものである。歴史的にも経験したことのないこの課題をどのように認識され、自治体の長として少子化対策、高齢者対策にどのように取り組んでいくか。

③ 日本の将来、成田の将来を考えた時、国際化の時代に対応した個性豊かな柔軟な発想を持った人間を育てることが大変重要なことと思う。市長は、学校教育における国際化時代に対応した人材育成について、どのように考えているか。

④ 農業振興は、市民の健康づくりや、教育を考える上からも重要な問題である。食ということをどの

ようにとらえ、また農業振興をどう図っていくか。

⑤ スポーツ振興にかかわる施設整備などのハード面、人材の育成や活用、スポーツ情報の提供などのソフト面の環境の整備について。

⑥ 市民の健康づくりについて、どのように取り組まれるのか。

**答** ① 成田市は、全国でも有数の財政力を誇る自治体であり、引き続き健全性を保っているが、変革の時代の中で新たなものを生み出していくためには、時には今までの発想の枠組みを変えることも必要である。そうした中で、組織の人間力の向上を図り、市民サービスの真価と自治体経営について検証しながら、市政のかじ取り役としての重責を果たしていきたいと考えている。

② 子育て支援として、小学生の医療費助成の導入を検討していきたくて考えており、さらに、病児・病後児保育及びファミリー・サポート・センターなどの各種事業を立ち上げ、安心して子どもを産み、健やかに育てられるよう、児童保育、子育て支援事業の充実に努めていく。高齢者福祉については、保健、医療、福祉の充実を図り、また、社会参加の推進など、高齢



者一人ひとりが自立し、生きがいを持って住みなれた地域で健やかに安心して生活していけるように、各種福祉サービスの充実に努める。

③次代を担う子どもたちが、グローバルな時代に対応し、知識とともに情操豊かにかつ健全に成長するため、教育環境の充実を積極的に推進していく。

④安心安全な農産物、付加価値の高い農産物の生産支援とともに、その担い手の育成に取り組んでいく。また、合併により拡大した農業基盤を活かし、相互作用や相互補完により魅力ある農業経営の体制づくりを進め、さらには地産地消を促進し地域農業の活性化のため、農家や関係機関団体と連携して取り組んでいきたいと考えている。

⑤施設整備などのハード面については、1地区1スポーツ広場の整備に取り組んでいるところであり、人材の育成や活用及びスポーツ情報提供などのソフト面の環境整備については、成田市体育協会等と連携を図りながら指導者の育成に努めている。

⑥各種健康教室による健康づくりや疾病の早期発見のための各種検診を実施しているが、今後は疾病予防としての健康づくりがますます重要となってくるものと考えている。今後とも市民一人ひとりが主体的に健康づくりを行えるよう、様々な支援策を講じていきたい。

## 市長の政治姿勢と 食育と卸売市場の活性化について

伊藤 竹夫 議員

**問** 市長の今後の政治姿勢について。

**答** 市長は、クリーンな市政を目指してをスローガンに掲げているが、入札等の制度改革を初めとした公平、公正かつ透明な市政実現への対応をどのように考えているか。

**答** 市政を担当するにあたって目指すところは、クリーンな市政の実現と、市民の視点に立ち市民の声を反映させることのできる市民に開かれた市政の実現にある。そのため最優先課題が、清潔な市政の流れをつくり上げるための入札制度改革であり、現在、6本の柱で進めている。入札方式については、建設工事を原則一般競争入札とし、これを電子入札で実施し、

**問** 食育と卸売市場の活性化について。

食育施策を進めていく上で、卸売市場を食育の情報発信の場として最大限に利用し、市場の必要性と重要性を理解することによって、食育教育を促進させ、また卸売市場の活性化につなげていくべきだと思いが見解を。

**答** 消費者の食に対する関心の高まりや食育基本法の趣旨を十分に踏まえた上で、本来の目的である市民の台所を守る生鮮食品流通の拠点としての役割はもちろん、食育推進のための情報提供の場として、より多くの消費者や市民に、卸売市場に対する理解を深めていただくよう取り組みを行い、市場の活性化につなげていきたい。

## 子育て・高齢者・障がい者支援の 充実について

荒木 博 議員

**問** 子育て支援の充実について。

- ①乳幼児医療費助成制度の小学校6年生まで拡充について。
- ②空き店舗利用について。
- ③病児保育園の設置について。

**答** ①安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境をさらに充実していくため、小学生の医療費助成制度の導入を検討していきたい。

②公共施設だけでなく、地域の状況によっては空き店舗など施設の

導入について検討していきたい。

③平成19年度から病児・病後児保育の実施を希望している民間の医療機関に、委託する方向で準備を進めている。

**問** 高齢者支援の充実について。

- ①リハビリ施設の設置について。
- ②多様なニーズに対応した生涯学習、生涯雇用の充実について。

**答** ①サービスの需要が高まることから予想されることから、民間活

力の導入を押し進めるため、各事業所の定員枠の拡大や新規参入を積極的に勧めていく。

②生涯学習の充実については、学びたいという高齢者の声に応える施策の実現に努める他、情報提供の拡充、成果を生かすための施策に積極的に取組み、生涯学習の進展に努めていきたい。生涯雇用の充実については、成田市シルバー人材センターに対しその職域の拡大等について、指導していきたいと考えている。

**問** 障がい者支援の充実について。

- ①障がい者自立支援の負担軽減について。
- ②障がい者住宅の施設整備について。
- ③障がい者就労について。

**答** ①障害者自立支援法の施行に伴う1割負担については、国の軽減措置が図られるが、成田市として、できる限りの負担軽減策を検討



▲卸売市場で行われた“お魚教室”



▲本庁舎駐車場

討していきたい。  
②市営住宅の建替の中で、障がい者が自立して生活できる住まいの併設も考えている。一般住宅については、重度の心身障がい者児等に対して、住宅改造費の一部を助成する制度もある。  
③身近な地域の中での福祉、労働教育等の関係機関との連携を図りながら、障がい程度の適性に応じた就労支援や生活相談支援にわた

り、一体的な支援体制が必要ではないかと考えている。

問 本庁舎駐車場を立体化してはどうか。

答 立体化については、検討を行ったが、費用対効果の観点から、直接市役所に用事のない方への取り組みを実施しているところである。増設については、今後の検討課題としたい。

### 乳幼児医療費の無料化と健康増進施設について

大倉富重雄 議員

問 小泉市長の市政運営について。

①透明性を高めるために、入札参加資格審査申請の見直し、外部監査の実施やISO9000シリーズの取得を進める考えは。

②少子高齢化に対応したまちづくりについて、小学校6年生までの乳幼児医療費の助成と病児保育園設置の考えは。また、リハビリ施設推進の考えは。

③農業の振興についての考えは。

④障がい者の経済的負担軽減についての考えは。

⑤地域間格差の是正への取り組みは。

立していく。また、ISO9000シリーズの認証取得は、他団体の導入状況等を参考に検討する。

②安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境を充実させていくため、小学生の医療費助成制度の導入を検討していく。病児・病後児保育については、実施を希望している民間の医療機関に委託する方向で準備を進めている。なお、設置については、利用者ニーズ等の状況を把握しながら検討していく。また、リハビリ施設の推進については、民間活力の導入を推進し、各事業所の定員枠の拡大や新規参入を進める。

③地域農業の活性化のため、農家や関係機関団体と連携して取り組んでいく。

④障がい者やその家族の経済的負担の重さを十分配慮した上で、できる限り利用者負担の軽減策を検討していく。

⑤市民に等しく情報を提供する仕組みをつくり、市民と行政における情報の共有化に努めるとともに、道路網の整備を行い、地域間の移動を円滑にし、人や文化の交流を深めていく。

問 少子高齢化社会への対応、老人医療費への抑制、そして介護予防などの観点から、新清掃工場の

### 市民参加における地域社会づくりについて

神崎 利一 議員

問 市民参加における地域社会づくりについて。

①地域の発展のために、団塊世代の研さんや人材活用をどのように考えているか。

②趣味、特技を生かした人材活用について。

③教育現場における人材の活用について。

答 ①研さんの場として、千葉県の実現現役サポートセンター等のシニア世代向け講座などの紹介や、退職した方の活用場の一つであるシルバー人材センターの支援を考えている。また、地域社会の様々な場面で活動できるよう、社会福祉協議会におけるボランティアセンターのコーディネート機能の強

化、充実を要請していきたい。

②成田市まなび&ボランティアサイトは、市民同士でもボランティアや講師依頼など人材活用ができる仕組みとなつているので、より一層活用されるよう、呼びかけていきたい。指導者の育成については、ボランティアや各種指導にあたるための心構えや実践を学習する機会を設け育成を図っている。

③現在、豊かな経験と専門的な知識や技能を持った地域の方々に、積極的に授業等の支援をいただいている。また、防犯パトロール等にもご協力をいただき、児童生徒の安全対策等に努めている。成田市教育センターにおいては、学校支援ができる市民の方々にボラン

ティア登録していただき、人材活用の促進に努めている。



▲4月の第2土日に開催する“成田太鼓祭”

問 行政サービスについて。

①市役所としての行政サービスのあり方について見解を。

②きめ細やかなサービスの仕方について。

答 ①市役所は最大のサービス産業であるとの考えのもと、親切に誠実に、そして期限を明示した迅速な対応によって、真に必要なサービスを必要なる方に効果的、効率的に提供していくことが大切であると考

えている。

※注…国際標準化機構の定める、品質保証を含んだ、顧客満足の向上を目指すための規格。

問 観光行政について。

①ちばデスティネーションキャンペーンでの成田市の対応は。

②さくらの山の今後について。

答 ①成田市においては、成田山新勝寺の特別参拝など特別企画を行うほか、期間中のイベントとして梅まつりや成田太鼓祭などを全

国に向けて発信している。

②観光立市推進の一環として、積極的に整備を進めていきたい。平成18年度は駐車場の拡張整備を実施し、また、地元物産品直売等が可能な100坪程度の用地も確保しているため、利用者の動向等踏まえて検討していきたい。

### 合併による地域の格差と

### 競走馬育成センター計画について

川崎 修 議員

問 成田市における地域間の格差について。

①市長は成田市の地域でどのような点で格差が生じていると思うか。

②格差解消のための対策は。

答 ①②各種の行政サービスや制度については、合併協議会の調整方針に基づき、成田市の制度を基本として統一を図ったことにより、下総・大栄地区においては大幅な行政サービスの向上が図られたものと考えている。

また、下総・大栄地区における合併時の急激な変化に対応するために、当面各地域において処理するという調整方針に基づき、支所を設置し、合併前と同様に窓口サービスが受けられるように配慮している。

道路や学校などの公共施設等の整備については、新成田市として均衡ある発展を目指し、計画的に施策を展開していく中で解決を図つ

ていく。

問 競争馬育成センター整備による地域再生計画について。

①本計画のその後の進捗状況は。

②新市長のもとでもこの計画は推進するの。

答 ①現在の進捗状況については、継続して特定地域プロジェクトチームの編成及び会議開催に向けた準備を進めているところである。

本計画は、事業主体となる民間事業者の決定が肝要になるが、現在のところ決定されていないと計画の提案者から聞いている。

②民間が事業主体となり、成田市及び国、県、地元経済団体が側面から支援することで、計画区域の「低・未利用地の有効活用」等を図ることが計画の趣旨であり、この点では地域再生につながる計画であると考えている。

### 市長の基本姿勢と

### 市民生活を支える施策について

馬込 勝末 議員

問 市長の政治姿勢について。

①前市長の問題について、平成18年度の委託契約にあたり、前市長からどのような働きかけがあったのか。再発防止のための入札制度の改善は急務だが、制限付一般競争入札を原則とする成田市の方針に変わりはないか。また、企業団体献金は禁止すべきと考えるが、市長の見解は。

②市長の歴史認識について、南京大虐殺などなかったとする、かつての発言を訂正する意思があるか。

③千葉県は2市4町の新たな合併構想を明らかにしたが、住民サービスの低下につながるものであり、反対をすべきだが。

④新清掃工場の機種選定について、ガス化溶融炉シャフト式は、資源循環型社会の形成とは逆行する機

種であり、見直しを求めらる。

答 ①いづみ清掃工場運転管理業務委託契約に際して、前市長から指示があり、保守点検と一般管理費については、前市長からの指示の中で取りまとめた委託内容と聞いている。

クリーンで清潔な市政を実現するその一つとして、制限付一般競争入札を原則とし取り組んでいく。また、企業団体献金については、受け取るつもりはない。

②歴史の受けとめ方は、市民一人ひとりの個人の認識があり、答えは差し控えたい。

③現在は合併後1年という時期にあり、新市のまちづくりを計画的かつ全力を傾けて推進していくことが重要である。さらなる合併については、十分に検討した上で判断していきたい。

④新清掃工場の機種選定については、中立の第三者委員会としての提言であることの重みを尊重し、ガス化溶融炉シャフト式を採用することで進めていきたい。

問 市民生活を支える施策を。

①住民税の障害者控除の適用拡大と周知徹底を。

②住民税増税を福祉施策に連動さ

せないような成田市独自の措置を。

③小学校6年生までの医療費無料化の実施を。

答 ①住民税の障害者控除については、65歳以上で寝たきりや認知症等により、その障がい程度が手帳を所持している方に準ずると市長が認定した方も含まれており、適正な運用が図られているものと考えている。周知の方法については、相談の際の紹介や広報なりたへ掲載し、周知に努めているところである。

②住民税制度の改正により、それまで受けていたサービスが減少するなどの影響は少ないものと思っ

ている。激変緩和措置の継続的な実施は困難である。

③子育て支援のさらなる充実のため、小学生の医療費助成制度について検討していきたい。

問 教育基本法が改定され、全国一斉テストの実施が予定されているが、子ども達が過度に競争にさらされることになる。参加しないことを表明すべき。

答 全国学力・学習状況調査を実施することにより、市内小中学校における学力の状況や児童生徒の学習環境や家庭における生活状況、教育条件の整備状況等を知り、その特徴や課題などを把握することで、各学校への指導や教育施策の改善等に活用することができると考えている。



▲ガス化溶融炉シャフト式の“習志野市芝園清掃工場”

※注…JRグループが地方自治体等と連携して行う、日本で最大規模の観光キャンペーン。

# 行政運営と新市建設への 取り組みについて

堀川 洌 議員

行政運営への取り組みについて。

①市民から寄せられる多岐にわたる提言等をどのように評価分析して市政に反映していくのか。

②行政組織の見直しについて、市民のニーズに即した機構改革を望むが、市長の意向は。

答 ①市役所は最大のサービス産業であるとの考えのもと、提言や意見に対して、何が必要なのかを考え、期限を明示した迅速な対応に努めるとともに、優先順位を明確にした施策を展開し、生涯を完結できるまちづくりの実現に取り組んでいく。

②効果的、機動的に施策を展開していくため、組織全体が市民の視点に立ち、限られた行政資源の中で多様化する市民ニーズの確に  
応えられるよう、より一層簡素で効率的な行政運営に努めていく。

問 新市建設への取り組みについて。

①一体化する市の構築と均衡ある発展について、中心市街地と周辺地域の格差是正にどのように取り組んでいくか。また、今後の下総・大栄両地区における地域づくりへの取り組みの方針は。

②成田空港と地域の共生について、騒音地域の土地利用や地域振興策

を。

答 ①どこに住んでも同じサービスをとされる福祉や教育については、合併時にそのほとんどが統一されているが、インフラ等の整備については、地域の特性を活かして推進する必要があると考

えている。下総・大栄地区の地域づくりについては、歴史や文化、自然を活かした施策を推進するとともに、愛着を持って住み続けていただけるよう努めていく。

②北伸整備に伴う騒音対策等については、新たに谷間地域についても、騒音法第一種区域と同等の対策を実施する。また、騒音地域の土地利用や地域振興については、騒音地域のみならず相談させて

いただくながら進めていきたい。

問 小泉市長の政治姿勢について。

成田市政の信頼を回復させることは非常に重要であり、また、社会情勢が大きく変化の中で、市民の理解と協力を得て、次代に合った成田市をつくり上げるためにも、小泉市長の今後の市政運営のあり方は、重大な責任を負っていると

いうことができる。

自らの政治姿勢と政治に携わるものとしての基本的な倫理観を常に持ち合わせながら、責任ある職責を全うすべきと考えるが、改めて成田市長としての政治的倫理観をどのように持ち、今後の市政運営に当たっていかれるのか伺う。

答 政治的倫理観については、一般的な道徳、良心の上にさらに求められる政治家という職業を遂行

している。下総・大栄地区の地域づくりについては、歴史や文化、自然を活かした施策を推進するとともに、愛着を持って住み続けていただけるよう努めていく。

## 市長の政治姿勢と 政策の優先課題について

小池 正昭 議員

するにあたっての職業倫理、政治家の具体的な行動規範であると理解している。具体的には、地方自治体の首長として強力な権限を与えられているということを強く認識し、市民の代表として、その権

限を正義を持って公平、公正に市民のために執行し、決してその地位を私的な利益追求に利用してはならないということであると理解している。市政運営に当たっては、厳しく自分を律し、天地に恥じぬ清い心を持って、誠実な行動をしていきたいと考えている。

問 市長の政策と優先課題について。

最近の国の地方分権や三位一体改革の議論等を耳にする限り、いよいよ成田の自力を創出して、都市間競争に勝てる力を持った強い成田づくりに本格的に取り組むべきであると考える。他市の例を見ると、ここ数年、都市のブランド力を高める方向性を打ち出してい

る例が珍しくない。この都市ブランドの確立を図る上で重要なのが、住む、働く、訪れるという3つの基本行動を充実させることであるとされている。そこで、「住んで良し、働いて良し、訪れて良し」の成田市を実現するための政策の中で、代表的なものや優先的に取り組むべき課題をどのように考えているのか。また、都市ブランドの確立という観点についての見解をあわせて伺う。

答 市民ニーズに的確に対応した都市間競争に打ち勝つ自治体経営を目指していきたいと考えている。今後の政策の展開については、成田市総合計画との整合性を図りながら優先順位を精査し、取り組んでいきたいと考えている。

問 市長選立候補者公開討論会で現在使われている教科書を批判したが、その具体的な内容。



▲外国人も多数訪れる成田

## 子どもへの精神薬投与の 危険性について

足立満智子 議員

問 市長選立候補者公開討論会で現在使われている教科書を批判したが、その具体的な内容。

答 現在、成田市を代表する立場にあつて、歴史認識について申し上げることは、結果として児童生徒の教育への影響を危惧するものであり、市民のみならずへ歴史認識を押しつけることになるのではないかと考えている。したがって、答弁は差し控えさせていただく。

問 発達障害者支援法施行と児童生徒への精神薬投与の危険性について。

①児童生徒に対するADHDやLDなどの調査や診断の結果は。②精神薬を服用している子どもと学校の対応について。

答 ①診断を受けたとされる児童生徒は、合わせて約70名である。②学校における配慮が必要な場合、保護者から特別に情報提供をいただき、緊急時の対応等は、全職員

※注1

ADHD…多動性、不注意、衝動性を症状の特徴とする発達障害の一つ。

※注2

LD…学習障害。全般的な知的発達に遅れはないが、特定の能力の習得と使用に著しい困難を示す。

で共通理解を図っている。

環境問題について。

① 芦田区医療系廃棄物不法投棄跡地のその後の経緯と今後の土地利用の計画について。

② 新清掃工場の機種選定に係る市長の見解。

答 ① 再度不法投棄を招かないために成田市が取得し、焼却炉の撤去については、法的な措置も視野に入れながら、引き続き撤去を求めていく。また、今後の土地利用については、調査、検討していく。

② 機種選定委員会の最終結論として、ガス化熔融炉シャフト式の提言がなされたことの重みを尊重し、今後の事業推進に取り組んでいく。

問 朝鮮有事の際の日米共同作戦計画の具体化と成田空港の軍事使

### 観光行政への取り組みと市道編入の基準の緩和について

内山 健 議員

問 観光行政への取り組みについて。

① 観光立市推進の基本的考え方は。② 外国人観光客誘致の取り組みは。

答 ① 既存の特産品の積極的なPRはもとより、地元農産品の活用や新たな特産品の開発を関係団体とともに推進していきたい。また、通年型の観光地を目指した観光の活性化を地域の商店街の活性化につなげていきたいと考えている。

問 市道編入の基準の緩和について。  
① 舗装及び排水施設の整備基準は。  
② 個人名義の生活道路を成田市が

② 成田市の観光資源のPRなどを行っているほか、平成18年度運行開始予定の観光循環バスを成田空港へ乗り入れるなどの積極的な取り組みを考えている。



▲芦田地先の“産廃不法投棄跡地”

用について。  
答 現段階では、周辺事態も含めた有事において、米軍が使用することを希望している空港等の具体名は明らかにされておらず、成田市としては、今後の動向を注視していきたいと考えている。いずれにしても、市民の安全、安心が脅かされることのないように、最大限に努力していく。

管理できるよう、市道編入基準の弾力的な運用を。

③ 今後の民間の宅地造成開発への指導の方向について。

答 ① 舗装については、道路構造令に基づいたアスファルト舗装要綱を準拠し、排水施設については、排水工指針に基づいて定めている。② 土地所有権が直ちに成田市に移

### 合併構想の早期実現と入札改革について

尾形 英司 議員

問 千葉県が提案した空港圏の合併構想の早期実現について。

空港を中心とした市町村が一体となり、国際物流機能の集積など、国際交流拠点としての優位性を最大限活用した地域振興、経済活性化をさらに力強く進め、千葉県経済発展の先導役のみならず、日本の国際競争力を担う国際空港都市として発展していくことが求められている。そうした中で、成田市は将来構想として、まず千葉県の合併構想である特例市を実現し、

近い将来、中核市を目指すべきと考えるが市長の見解は。  
答 現在は合併後1年という時期にあり、今回の下総町及び大栄町との合併を成功させるために、新市のまちづくりを計画的、かつ全力を傾けて推進していくことが重要である。そして、合併の効果に十分に検証した上で、将来におけ

管できるものであることが条件となる。今後、全体を考慮した上で市道編入要綱の運用を検討していきたい。  
③ 下総・大栄地区の開発行為については、建築動向を注視し、小規模な開発行為の把握に努め、その動向により必要な措置を講じていきたいと考えている。

る成田国際空港を核とした国際空港都市づくりを描く中で、さらなる合併が必要かどうかについては、十分に検討した上で判断していきたい。

問 入札改革について。

市長みずから不退転の決意で改革の先頭に立たなければ、不正の掃はできない。透明でクリーンな市政を実現するため、どのような入札改革を行うのか。

### 教育改革の進め方と軽症者の救急搬送について

海保 茂喜 議員

問 教育基本法改正と教育改革の進め方について。

① 義務教育の新たなシステムづくりについて。  
② 子育て支援で母親のいる家庭を

答 建設工事については、入札参加資格申請をし、業者登録がなされているなどの条件を付した一般競争入札を原則とし、これを電子入札で行っていく。委託契約については、平成19年度の当初委託契約予定の458件について、206件を競争とし、このうち95件については、今まで随意契約であったものを競争とすることとした。また、職員に対する職務に関する働きかけについての取扱い要領を制定し、職員が職務に関して外部のものから働きかけを受けた場合の組織的な対応についての手続を定め、不当な働きかけを抑止し、ひいては行政運営の公正確保と透明性の向上を図ることとした。今後、早急に取り組む案件としては、入札にかかわる違法あるいは不誠実な行為を行ったものに対する指名停止処分の期間の延長、内部通報制度の整備、入札監視制度の導入、入札制度改善検討委員会の見直しなどを行っていく。

取り戻す大切さについて。  
③ 給食費未納に見える親の責任感について。  
答 ① 各学校において、校長の裁量のもと地域や児童生徒の実態に

応じた特色ある学校づくりに向け  
て取り組んでいる。

②子どもの接し方や子育ての仕方  
等を子育て学習講座、思春期子育  
て講座として、市内すべての小中  
学校で実施し、保護者に対しての  
支援事業として積極的に取り組ん  
でいる。

③学校給食は、保護者が負担して  
いる学校給食費で成り立っている  
ことについて、理解と協力を得ら  
れるよう個々に訪問し、実態を調  
査しながら保護者負担の公平性を  
保つよう努めていく。

問 緊急性の低い軽傷者への取り

## 食物アレルギー等への 学校給食の対応について

青野 勝行 議員

問 食物アレルギー等を持つ児童  
生徒の学校給食の対応について。

①成田市では、食物アレルギーを  
持つ児童生徒を把握しているのか。  
また、把握しているとすれば、  
その児童生徒がどのような食物ア  
レルギーを持っているのか、個々  
に把握できているのか。

②学校給食の献立におけるアレル  
ゲン物質の表示について。

③アレルギーの児童生徒の緊急時  
に、どの教職員でも即時に対応が  
できるように、アレルギーを持つ  
児童生徒のアレルギー症状の個別  
マニュアルの作成が必要ではない

組みについて。  
①タクシーがわりの安易な救急車  
利用の歯どめ対策について。

②病院間搬送の救急車利用の適正  
化について。

③民間救急事業者の育成について。  
答 ①救急車の正しい利用法につ  
いて、啓発に取り組んでいく。

②緊急性の少ない搬送については、  
医療機関の理解を求めながら、今  
後必要な対応を図っていかなく  
ばならないと考えている。

③現在、県内に10の業者が患者等  
搬送事業を行っているが、まだ数  
が少ないので、育成について研究  
していききたい。

か。

答 ①食物アレルギー等を持つ児  
童生徒の個々の把握については、  
各小中学校において、毎年定期的  
に児童生徒の発育、健康状態に関  
する保護者への保健調査を実施し  
ており、この中で食物アレルギー  
の実態把握に努めている。また、  
平成18年度実施した就学時健康診  
断においても、食物アレルギーを  
持つ就学児については、保護者に  
健康診断票等で学校へ連絡するこ  
とをお願いした。18年度の保健調  
査の結果から、食物アレルギーが  
ある、または、今までに症状が出

たことがあると回答した小学生は  
全体の3パーセント、中学生は2.  
3パーセントであった。教育委員  
会では、学校別の人数については  
把握をしているが、個人のアレル  
ゲンになる食物の種類については、  
各学校で把握している状況である。  
②平成18年9月から、学校及び保  
護者の要望により、各月ごとの献  
立表に加えてアレルギー成分を表  
示した特別な献立表を、学校を通  
して保護者に配布している。

③小中学校には、日本学校保健会  
が発行した食物アレルギーによる  
アナフィラキシー学校対応マニユ  
アルが配布され、活用している。  
食物アレルギーを持ち配慮事項等  
のある児童生徒については、全教  
職員が共通理解を図り、緊急時に  
おける対応等の確認を行っている。



▲成田市学校給食センター（玉造地区）

## 妊婦無料健診の拡充と 道路排水について

佐藤 吉英 議員

問 妊婦無料健診の拡充について。

答 公費負担の回数増に向け、千  
葉県の今後の動向を踏まえながら  
検討していく。また、平成18年度  
の4月から12月までの実績は、無  
料健診券による公費負担での妊婦  
健診は妊娠前期分、後期分ともに  
おおむね900件受診されている。

計上し、流末の調査から検討して  
いるところである。今後の整備に  
ついては緊急性のある路線から段  
階的に進めていく。

問 大栄診療所の今後のあり方に  
ついて市長の考えは。

答 開設以来、地域住民の身近な  
医療機関として重要な役割を担っ  
てきたものと考えている。しかし  
ながら、近年は積立基金の取り崩  
しにより収支のバランスを保って  
おり、施設の老朽化や医師の確保  
など数多くの課題を抱えているの  
が現状である。  
今後については、今しばらく様  
子を見させていきたい。

問 道路排水について。

①大栄地区道路排水の問題点の計  
画的かつ抜本的な対策を。  
②今後の整備計画は。

答 ①大栄地区の市道について  
は、側溝が整備されていない路線  
が多いが、部分的な側溝整備では  
根本的な解決にはならないことか  
ら、排水整備に係る調査委託費を

## パーキングシステム周辺開発と 少子高齢化問題について

穴倉 勲 議員

問 北千葉道路建設に伴うパーキ  
ングシステム周辺開発について。

①成田市として施設の建設計画は  
あるか。  
②成田新高速鉄道、北千葉道路建  
設周辺地域に対する成田市として  
の対応は。

答 ①平成18年度内に地元の関係  
者等を交えた検討会を立ち上げる  
準備を進めており、また、19年度  
において（仮称）印旛沼簡易パー  
キング関連施設整備基本構想を策  
定する予定である。  
②沿線の関係区からの要望事項に  
ついては、事業者と協力して誠意  
を持って解決に向けて努力してい

※注 アナフィラキシー…アレルギー反応のうち、生命にかかわる急激な全身性の反応。

る。北千葉道路への取付け道路の整備については、関係する区や事業者と十分協議した上で、整備計画をまとめたいと考えている。

**問** 合併記念事業の一環として行われた事業の継続計画は。

**答** 今後の事業継続については、実施主体の判断となるが、新たな観光資源の創造や商業の振興が予想される事業については、成田市としても事業のPR等、協力できる点については協力していきたいと考えている。

**問** 少子高齢化問題について。

①老人福祉センターの建替えについて。

②子育てマンシヨンの計画は。

**答** ①施設の建替えについては、現時点で具体的な計画はないが、今後、増改築も含めて検討していく。

②子育て支援策として、小学校就学前の子どものいる世帯の入居収入基準を見直すなど積極的に支援していく。

**問** 江川整備事業について。

### コミュニティバスの今後の展開と給食費未納問題の対応について

水上 幸彦 議員

**問** コミュニティバスは、平成17年4月1日から遠山ルートと大室

小泉ルートの実証運行となり、現在6路線が運行されている。



▲公津地区にある“老人福祉センター”

①浄化について。  
②ポケットパークについて。  
③工事について。

**答** ①水質浄化及び生態系に配慮した河川環境づくりにつながる多自然型河川整備を実施している。また、流域においては、家庭排水等が直接江川へ流入しないように啓発に努めている。  
②新江川橋上流部と初井戸橋付近の2カ所に配置しており、今後住民の意見を取り入れながら管理または、整備していく。  
③工事に伴う田面取付けについては、水田への出入りに支障を来たすところが発生するが、地権者の意向等に配慮し進めていきたい。

①コミュニティバス運行を、新市長として、どう交通ネットワークの充実、拡充に努めるのか。  
②遠山ルートの南三塚塚地区までの延伸を現在の運行回数を維持しながら運行実施できないか。

**答** ①現在のコミュニティバスの運行を継続し、今まで推進してきた事業が後退することなく、今後も利用しやすくなるよう拡充していきたい。  
②利用者の利便性を考慮したバスの運行を検討し、路線の運行延伸等に伴う走行距離の増加分については、どのような方法が可能であるか、どのような方法が可能であるか、どのよう

### 契約の透明性と合併問題について

油田 清 議員

**問** 入札制度の改革について。

成田市の建設工事での入札の落札率は2005年が96.6パーセントと高く、これでは談合疑惑がささやかれても不自然ではない。佐倉市や我孫子市などでは、原則として130万円以上の工事価格

80万円以上の物品購入、40万円以上のリース契約を一般競争入札に切り替えている。成田市の考えは。  
**答** 建設工事については、原則一般競争入札を実施する方針で、今後、委託業務、物品購入についても前向きに取り組んでいく。

**問** 千葉県を示した2市4町、成

るか研究課題としたい。

**問** 最近の報道で、学校給食費未納問題が大きく取り上げられているが、成田市の学校給食費未納者の現状と今後の対策について。

**答** 給食費未納の主な原因は、保護者としての責任感や規範意識の問題が65.7パーセント、保護者の経済的な問題が25.3パーセントであり、未納者は増加傾向にあり、督促状の送付、電話による催促等に加え、訪問調査を実施し、その状況に応じた対策を講じ、保護者負担の公平性に努めたい。

田市、富里市、多古町、芝山町、神崎町、栄町で合併すると人口は約10万人増えるが、面積は2倍以上になる。財政的には、成田市が交付団体に転落する危険性も含んでいるが、市長の考えは。

**答** 新生成田市の一体感の醸成を図りながら、きめ細かな市政運営をしていくことが、喫緊の課題である。さらなる合併が必要かどうかは、十分に検討した上で判断していきたい。

**問** 中台運動公園の使用における利便性の向上について。  
①インターネットの時代であり、

空き情報は一目で検索でき、そのまま申請できるようにすべきでは。  
②トレーニング室や弓道など、個人利用の施設について、月会員制やチケット制など考えられないか。  
**答** ①インターネットからの施設の空き情報については、平成19年6月から稼働する。  
②回数券等については、今後、先進市の事例等を調査研究し、条例改正を視野に入れながら利便性の向上に努めていきたい。

**問** 介護保険の諸問題について。

①介護保険の利用できない介護度軽度者に、ベッドなど福祉用具貸し出しの助成ができないか。  
②リハビリの需要と対策、特に訪問リハビリの充実について、どのように考えているのか。  
③現在1カ所しかない、地域包括支援センターの今後の拡大は。

**答** ①国の動向や他市の状況等も勘案しながら、総合的に検討していきたい。  
②介護保険によるリハビリのニーズは、ますます高まってくることを予想され、今後も引き続き市内のリハビリテーション科を標榜する医療法人や訪問看護事業所に事業参入を要請していきたい。  
③平成20年度までは現状どおり1カ所で市全域に対応することとしており、今後見込まれる利用者や業務量の増加については、職員の増員により対処していく。

## 地域間格差と環境問題について

村嶋 照等 議員

**問** 地域間格差の是正について。

地域間格差の問題は、教育、福祉からインフラ整備に至るまで大変範囲が広い。公津地区等、上下水道の整備が遅れているところや、日々窮屈な思いで通行している周辺地域の道路事情の改善、また、ケーブルテレビ網の整備による情報網の公平、広域化など、改善に取り組んで欲しいところだが、市長は何から着手しようと考えているのか。

**答** 福祉や教育については、基本的に格差があつてはならない分野なので、さらにきめ細かい施策を展開していきたいと考えている。行政情報の提供は、市民がまちづくりに参加するきっかけとなるものであり、情報の技術革新が急速に進む中であつて、市民に等しく情報を提供する仕組みをつくり、市民と行政の情報の共有化に努めていきたい。また、道路網の整備を行い、地域間の移動を円滑にし、人や文化の交流を深めていきたい。いずれにしても、地域の特性を最大限に活かしながらまちづくりを推進していく。

**問** 桜の木の問題について。  
市内には桜の名所と呼ばれるところ

ろがたくさんあるが、そのほとんどの枝先が竹ぼうきの先のようになつた、てんぐ巣病が発生している。桜のために今何をしてあげられるのか。

**答** 市内でも、公園や学校、道路沿いの桜の木に病気が見られるが、

## 地方分権と介護保険、農業振興について

秋山 忍 議員

**問** 地方分権の本来の目的は、政治の主導を中央から市民に移す、

いわゆる市民政治を確立することにあると思うが、市長の地方分権に対する基本的な考え方は。

**答** 分権改革が目指す真の地方自治を実現するためには、市民分権を広げていくことが必要であると認識している。

**問** 介護保険について。

①介護給付の削減が先行し、認定が厳しくなっていないか。

②特定高齢者の地域支援事業対象者の把握と選定基準の現状は。

③現在、1カ所の地域包括支援センターは、総合的かつ継続的支援の機能が十分働いているのか。

④地域支援事業は、介護給付費の

原因が細菌による伝染病のため予防が難しく、かかった枝を早期に伐採し焼却するのが最善の対処方法とされている。公園などにまわって植栽された桜の木については、通常管理の中で対応しているが、すべての市有地内の木まで管理が行き届かないのが現状である。広報紙やホームページなどを活用して市民の方々にてんぐ巣病対策を周知し、蔓延防止に対する協力を呼びかけたい。

3パーセントでやりきれぬのか。

**答** ①要介護認定の審査判定基準については、従前と変更はなく、成田市の調査員が認定調査を実施しており、今後も適切な介護認定審査を実施していく。

②全国的に特定高齢者は、国の想定人数を大幅に下回っており、国も基準緩和について準備を進めているところである。成田市としても、訪問による実態把握調査を継続し、特定高齢者の把握に努めていきたい。

③現状では人員増による対応可能な状況である。今後の設置の進め方は、要支援認定者数の推移等を見守っていきたい。

④対象経費とならない配食サービス事業等については、成田市単独

事業として実施している。

**問** 農業振興について。

①市内には、生産高、品質とも全国でもトップクラスの農産物があるが、その品質に比較して知名度は低い。小泉市長のトップセールスとしてのPRをお願いしたい。

②押畑、小浮地区の農地・水・環境保全対策事業の結果と、今後の活用方法は。

③地産地消モデルタウン構想事業の公募を検討すべきではないか。

**答** ①地元農産物のPRについては、各種イベント等への参加やパンフレットへの掲載等を通じて行っているが、さらに国際観光都市成田の特性を生かし、関係機関、団体と協力していきたい。

②本事業は、実験事業としてモデル的に実施しており、両地区とも地元活動組織を結成し、農業用施設の保全活動や環境美化活動などに地域ぐるみで取り組んでいる。今後は、農業用施設の保全活動だけにとどまらず、地域住民の交流や子どもたちの学習の場として利用するなど、幅広い活用が期待できるものと考えている。

③平成19年度から新たに実施される国庫事業だが、県も事業の内容が把握できない状況で、その対応の検討もされていない。今後は、事業の把握とともに、全国の優良事例の調査等をしていきたい。



啓蟄が過ぎて、ウメ、サクラと花の移ろいも暖冬のせいのか、例年より早い感じがします。思えば昨年サクラの咲き始める3月27日、新生成田市がスタート、早1年が過ぎ去りました。

合併時の議員に対する在任特例の期間適用により、1年余りの間60名の議員は、新市の均衡ある発展に向けて諸問題に対処、活発な議会運営に取り組んできました。4月29日までの任期が過ぎると、新議員の誕生と共に議員定数は30名となり、議員の報酬、政務調査費もすべて統一され、正に新たな議会活動が開始されます。

この市議会だより44号が市民のみなさんの目に触れる頃は、新議員選出に向けて熱気を帯びた熾烈な展開が予想されます。 Y・K

6月定例市議会の開会日は、未定です。  
☆☆☆☆☆  
「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。  
電話(20)1570直通  
ファクス(24)0336